

令和2年度

年度学校評価書

令和3年2月4日(木)



学校歯科医師による歯磨き指導 (11月:1年生)



矢立小学校との交流会(11月:2年生)



社会科「火事からくらしを守る」大館消防出前講座(11月:3年生)



大館市教育研究会特別活動研究授業(11月:4年生)



少人数加配授業指定訪問研究会(算数)(11月:5年生)



命の授業(講師:助産師 菅原光子氏)(12月:6年生)

大館市立釈迦内小学校

学校運営の状況

学校評価 Aと学校 関係者評 価の評価 区分	きわめて良好	学校評 価Bの 評価基 準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	前期	良好	良好	学校施設設備について、適正に環境が整えられている。各家庭や地域への情報発信では、学校ブログ等、ネットワーク上に取り上げる点については、児童のプライバシーを守るという観点から慎重に行い、学校報や学年通信を通じて、「児童の小さなエピソード」を加え、学校での活動の様子を発信して欲しい。
	年度	良好	良好	設備に関しては、適切に管理されている。情報発信は、保護者も「個人的に見たい。でも、プライバシーにも配慮が必要」と理解していると思うので、今後も工夫してほしい。コロナ禍の中でも、地域の関わりを大切に行っているのはありがたい。

善学校評価の概要と学校の改

【前期(一年度)】1 施設設備について一今年度前期は、2件の施設設備が修繕され、1～2年に新しい机と椅子が搬入された。全ての学年で、机・椅子が揃い、新しい気持ちで勉強できる環境が整った。体育館のトイレ改修は、4月に教育委員会立ち会いのもと、業者も入りながら、入念な打合せを行ってきたが、現在、保留の状態である。今後は、施設の老朽化に伴い修繕が必要な箇所を中心に、子どもたちの安全のために日常点検を確実にし、必要な修繕は実現できるように働きかけたい。2 家庭への定期的な情報発信について一保護者アンケートで、学校ブログを随時、更新してほしいと要望が出された。保護者からは好評であるので、学校ブログを更新、継続し、情報を発信していきたい。関係諸団体との連携・教育力の活用では、新型コロナの影響もあり、7月からの稼働だったが、PTAや学校支援コーディネーターの力で教育力が効果的に活用できた。後期も状況をみながら、継続して行えるように計画していきたい。

【年度(一年度)】1 施設設備について 後期は、外部スピーカーやチャイム機器、時計の充電池が新しく整備され、緊急時の放送やチャイム音、時計で子どもたちが動けるようになり、今までの課題が解消された。また、国のGiGAスクール・Wi-Fi環境が秋頃から整備され、1月下旬には、一人一台のタブレットが使える環境である。熱中症予防対策の一貫として、各教室にエアコンが配備され、2月中までに工事が終了する予定である。今後は、校外の危険箇所や校内の日常の点検を行い、改善や修繕が必要などころは早急に対応し、大館市に要望していきたい。2 家庭への定期的な情報発信について 後期は、熊出没やコロナに関する情報を緊急メールで発信したり、学校ブログで子どもたちの活躍を更新したりしながら、各家庭に情報を発信してきた。ブログに関して、児童が活躍している写真を鮮明に出してほしい要望があった。本校のホームページならびに学校ブログは、誰でも見られる環境にあるので、セキュリティを強化しながら、対策を練っていききたい。関係諸団体との連携・教育力の活用では、前期と同様、外部団体やPTA、学校支援コーディネーターの力で教育力が向上してきている。また、職員の超過勤務や多忙化防止に向けて、分掌分担や年休をとりやすい環境をつかった。今後も計画的、効果的に活用したり、職員の多忙化を解消したりしながら、改善していきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	4	4
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修		
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	PTAでの説明と講話等、学年・学校報の発行、ホームページの公開、学校ブログの開設、諸行事の案内	4	4
	(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換、地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用		
	(5) 幼・保・中との連携	運動会、ひまわり活動や田植え、ひまわり油等販売活動での交流、中学校職場体験、小中連携研究会の実施		

○児童 □保護者 ■教職員

【1(2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理に関すること】

・大館市への要望で後期改善されたところ

- ①放送機器の設置(グラウンド側・遊具側のスピーカー3台) ②体育館・児童玄関前の時計・充電池交換とチャイム音機器交換 ③一人一台タブレット、LANシステム環境 ④新しい遊具の設置(2カ所) ⑤エアコンの設置(教室)

・次年度大館市への要望

- 【管理棟】管理棟ビロティエ屋根の修繕・塗装
- 【プール】小プール底面塗装の剥がれ・修繕
- 【トイレ】体育館トイレの洋式化
- 【遊具】劣化したジャングルジム、すべり台の補修



全教室にエアコン設置



キーボード付きタブレット



登り棒や柵付ブランコ リニューアル



【2(3)家庭への定期的・効果的な情報発信に関するデータ】

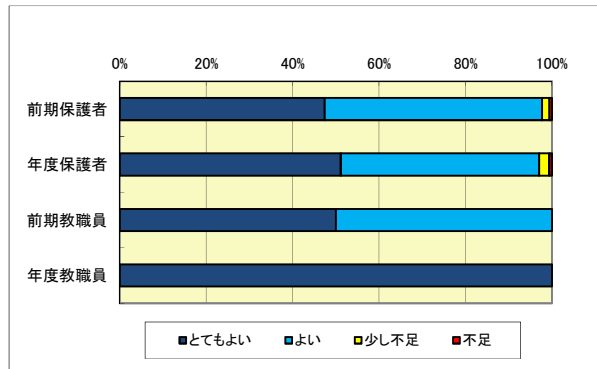
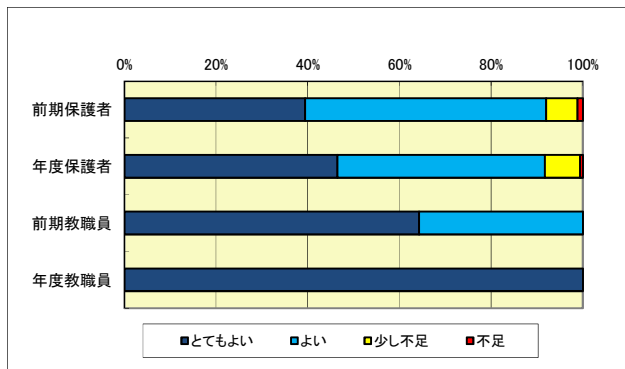
□ 学校は、学校報や学年だより、学校ブログなどで学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えたり、PTA学年懇談や個人面談などで情報交換したりしながら連携できていますか。

■ 家庭へ定期的・効果的な情報発信を行っていますか。

【2(4)関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ】

□ 学校は、諸活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者やの教育力を活用していると思いますか。

■ PTA活動や行事、各教科等で、保護者や地域、関係諸団体と連携し、教育力を活用していると思いますか。



社会科見学や家庭科における学校支援ボランティア活動

【今年度、PTAや学校支援ボランティア活動の取組】

- 学習支援活動(社会、家庭、体育、総合的な学習の時間などの授業補助)
- ・社会科見学(3年)～ザ・ビッグ駅迎内店
- ・家庭科でのミシンの使い方、縫い方の指導補助(5～6年)
- ・体育科スキー授業での指導補助(1～2年生)
- ・大鱈スキー場におけるスキー教室の指導補助(3～6年)
- ・総合的な学習の時間及び生活科の支援活動(1～6年)
- ・生活科での昔の遊び体験指導補助(1～2年)

学校運営の状況

II 特色ある学校づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	前期	良好	良好	10年目の節目を迎えたひまわり活動。クラウドファンディングなど地域や民間団体を巻き込んだ取組が素晴らしい。前期は、鳥害やコロナの影響による販売活動の自粛など、思うように活動が出来なかったピンチをチャンスに変えるきっかけづくりになるように、今後の活動に期待したい。
	年度	良好	良好	コロナ禍の中で、付けたい力が明確になり、活動の意味がはっきりして、むしろ内容が深化したものがあつた。継続することが大切だと思うので、ぜひよろしくお願ひしたい。
改善学校評価の概要と学校の	<p>【前期(→年度)】3(7)に関して→種まきや除草活動は例年通り行うことができた。鳥害などの関係により高館下での収穫は行うことができなかった。また、コロナ対策として、一戸一ひまわり活動の規模を縮小し、児童が作成した種入りのメッセージカードを公民館や郵便局などに置いてもらうことにした。3(8)に関して→対面での販売活動が出来ないという状況の中で、どのように販売を行っていくか、ひまわりキッズ委員会を中心となって、全校児童で話し合い(ひまわりスタート集会)を行った。地域や民間団体の協力もあり、クラウドファンディング(CF)という方法を用いることで販売活動の代わりの活動を行う予定である。後期は、ひまわり感謝祭を通して、ひまわり活動に地域の方がどのように関わっているのか学び、地域の一員としての自覚やふるさとの発展に尽くそうという気概を培っていきたい。</p> <p>11月6日～11月30日にかけて、クラウドファンディングで1口7000円の寄付を募った。目標は100口、70万と設定した。結果は153口、合計107万1000円を集めることができた。募集を行うホームページの作成を5年生を中心に行い、相手に共感してもらうための見出しの付け方や文章の内容について、学びを深めていった。1～4年生は寄付してくれた方へ渡すお礼状づくり、6年生は釈迦内小のひまわり活動を紹介するリーフレット作りを行うことで、相手や目的に応じた情報選び、表現方法などを学ぶことができた。また、寄付してくれた方への返礼品として、ひまわり油詰め合わせギフトボックスの作成を行った際には、PTAひまわり部によるビンの梱包、5・6年生による箱詰めなど、地域・保護者・学校が一体となってクラウドファンディングを推進していくことができた。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3「問いを発する」ひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施	付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進、各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント	4	4
	(7) 深化と自律を目指した活動と釈迦内SPとの連携	ひまわりキッズ委員会を中心とした取組、釈迦内SPとの連絡・調整、一戸一ひまわり運動、ひまわり感謝祭等の実施	4	4
	(8) 新ひまわりプロジェクト「SKIP」の展開	児童の発想や願い問を生かしたひまわり活動、生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト、キャリア教育と連動して育てる力の明確化		

○児童 □保護者 ■教職員

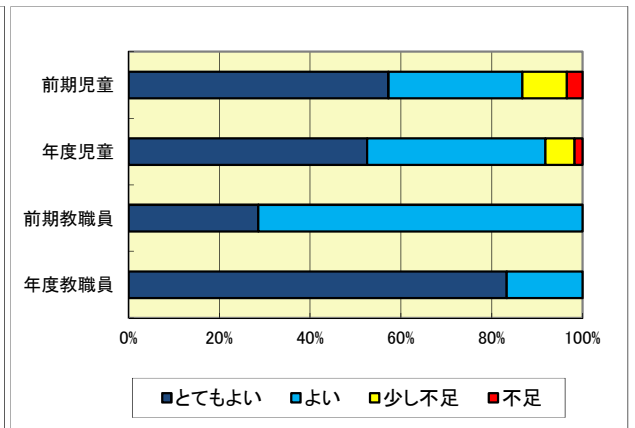
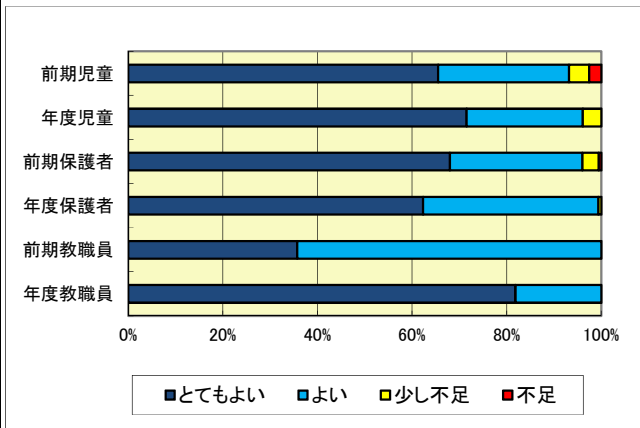
[3]に関するデータ

(7) 深化と自律を目指した活動と釈迦内SPとの連携

- 各学年の学習園や花壇作業、ひまわり活動に進んで取り組むことができましたか。
- 学校は、保護者や地域の方々、釈迦内SPと連携してひまわり活動に取り組んでいると思いますか。
- 保護者や地域の方々、釈迦内SPと連携してひまわり活動に取り組んでいると思いますか。

(8) 新ひまわりプロジェクト「SKIP」の展開

- お家や地域の人たちと協力したり、ひまわり活動を通してアイデアを出したりすることができましたか。
- 児童の発想や願い、問を生かしたひまわり活動が展開されていますか。



【5年生による文章づくり】



【5・6年生による箱詰め活動】

児童の状況

Ⅲ 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	前期	おおむね良好	基本的な生活習慣を形成させるための「釈迦内小のやくそく」。学校だけでなく、保護者にも周知していただき、どの部分が不足しているか、家庭での協力も仰ぎたい。今後は、縦割り班活動や児童集会など児童主体の活動を行い、自己有用感が高められるよう期待する。
	年度	良好	

善学策評価の概要と学校の改

【前期(一年度)】
4(10)(11)について→今年度も昨年度同様、「しゃかないハッ」なあいさつを合い言葉にあいさつ運動に取り組んでいる。今年度は、前期児童総会で全校であいさつについて考える機会を設け、日替わりあいさつを実施することを決めて取り組んでいる。今後は、あいさつ運動を生かして児童の頑張りを認め、あいさつの向上だけでなく、自己有用感を高める取り組みへとつなげたい。4(12)について→先生と話そう週間として、いじめアンケートをもとに児童の悩みや普段の頑張りを認める機会とし、早期解決や自己有用感を高める取り組みを実施した。早期対応により、1学期いじめアンケートの児童の悩みを解決することができた。また、2学期はじめに明るい気持ちで学校生活を始められるように、2学期スタートパーティーと称してお楽しみ会等の学級活動を実施した。4(13)について→今年度は避難訓練(不審者)の内容を工夫したり(不審者の教室棟への侵入を想定)警察の方から講話していただいたりと教職員だけでなく、児童の危機管理や危険回避の意識を高める取り組みができた。

【年度(一次年度)】
4(10)について→前期に引き続きあいさつ運動を後期も継続して行っている。後期は、各学級からあいさつチャンピオンを選出し、良いあいさつのお手本として放送で全校に広めるようにした。4(11)について→いいの日の日を設定し、縦割り班での交流を深める機会を設けた。特に、低学年の児童を中心にいいの日の日を楽しみにしている児童も多く、今後も異学年交流の場を設けて、楽しい学校づくりに向けた取り組みをしていく。4(12)について→友達の良いところを見つけ、カードに記入する「いいところ探し」の時間を設定した。活動を通して、自分が普段頑張っていることが伝わっていることを確認できたり、新しい自分の良いところを発見したりする機会となった。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(9) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	「釈迦内小のやくそく」による基本的な生活習慣の指導 日常の言葉遣い指導	3	4
	(10) 美しい心を育むあいさつ運動・ボランティア	あいさつ運動の工夫(合い言葉、あいさつチャンピオン認定) ボランティアデー(毎月25日)によるボランティアの奨励		
	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	児童総会等による児童の自発的、自治的な活動の助長 いいの日の日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励		
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(12) 自己有用感のもてる学年・学級経営	先生と話そう期間の設定、いじめアンケートや日常の教育相談活動による問題の早期把握、日常の教育相談活動等	4	4
	(13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	学校安全日、朝の交通安全指導、避難訓練(地震・火災・不審者等)交通安全教室の実施		

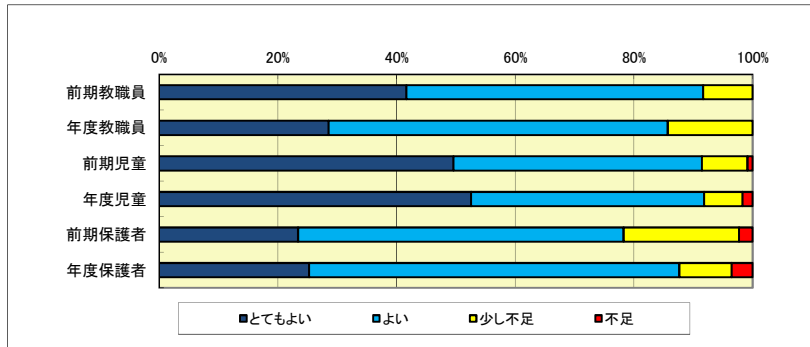
○児童 □保護者 ■教職員

【4(9)(10)基本的な生活習慣づくりに関するデータ】

(9)(10)「釈迦内小のやくそく」

○「釈迦内小のやくそく」を意識して、学校のルールやマナーを守ることができましたか。

□ 学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせるために「釈迦内小のやくそく」を活用したり、委員会を通してあいさつ運動を工夫したりしていますが、子どもたちに身に付いていると思いますか。

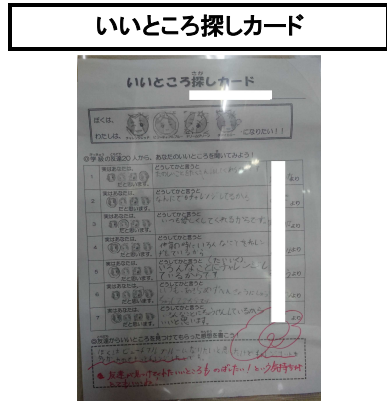
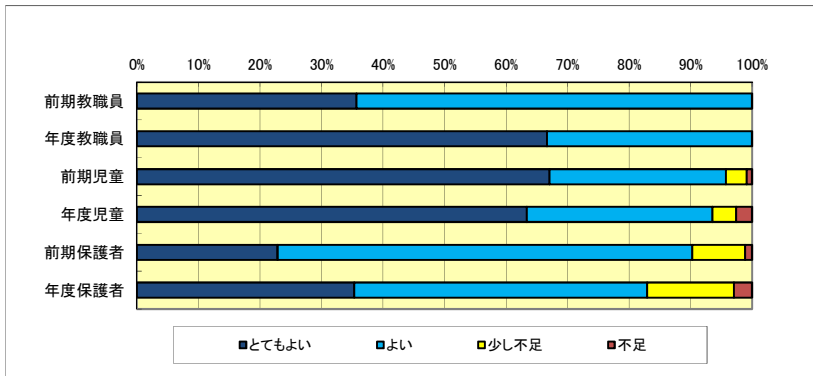


【4(11)(12)自己肯定感、自己有用感の高揚に関するデータ】

○ ふだんの授業や学年での活動、係や当番活動、委員会活動(4~6年)を通して、自分や友だちのよいところを見つけたりすることができましたか。

□ 一人一人を理解し認めることで自己肯定感を高めたり、係や委員会活動を通して自己有用感を高めたりして、一人一人が安心して

■ て学ぶことができる学校づくりを目指していますが、そうなってきていると思いますか。



児童の状況

IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	前期	良好	良好	メディアコントロールに関しては学校としてはよくやっている。今後は、外部機関と連携して、地域ぐるみで取り組んでほしい。コロナの影響で1学期実施出来なかった健康診断等は、全て2学期以降に降ってしまったが、その結果(データ)をもとに、児童の健康状態の把握、指導に役立ててほしい。
	年度	良好	良好	コロナ禍で、できることをしっかり取り組んでもらってありがたい。メディアコントロールは、保護者との連携が大切なので、たいへんと思うが、できることをやってほしい。

善学策校評価の概要と学校の改善

【前期(一年度)】6(14)(15)について→栄養教諭による食育指導を2学年で実施し、食事の大切さに気付くことができた。今後は他の4学年でも実施予定である。養護教諭による歯みがき指導を2学期に計画している。大館市一斉のメディアコントロール週間を2学期に実施予定である。集会で清掃の仕方を指導し、がんばっている児童を称揚したりしている。7(16)について→新型コロナウイルス感染拡大予防のため、運動会と体カテストが中止になり、運動会の代わりに記録会を実施した。マラソン運動では、がんばりカードを活用したり体育委員会から賞状を発行したりしたことによって、自主的な体力づくりの意識を高めることができた。後期は秋田県医師会作製のロコモダンスDVDの活用となわとび運動の実施によって、児童の意識を高め、体力向上を図りたい。

【年度(一次年度)】6(14)(15)について→栄養教諭による食育指導を全学年で実施し、食事の大切さに気付かせることができた。養護教諭による歯みがき指導を3・5年で、学校歯科医による歯みがき指導を1・4年で実施し、正しい歯みがきの必要性を確認することができた。ONE ONE カードを活用し、大館市小中一斉のメディアコントロールチャレンジ週間を実施。各家庭で改めてメディアコントロールの重要性に気付くことができた。7(16)について→体育委員会主催のロコモダンスを全学年で行い、楽しみながら運動することができた。なわとび運動では、がんばりカードを活用したり体育委員会主催のチャンピオン大会を開催したり、賞状を発行したりしたことによって、自主的な体力づくりの意識を高めることができた。

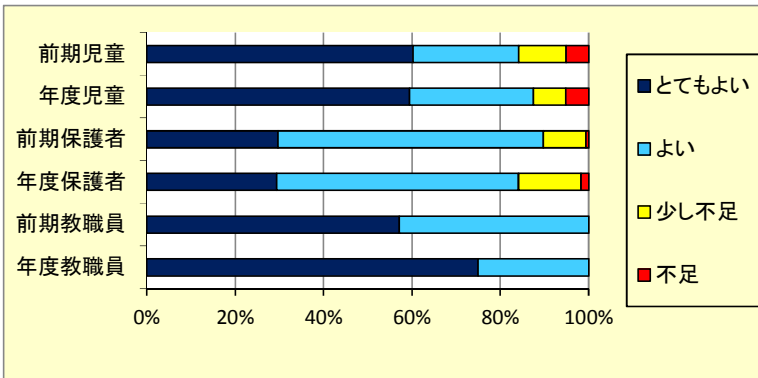
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化	健康状態の把握及び指導、歯磨き指導、one oneカードの活用、メディアコントロール週間の実施、清掃指導	4	4
	(15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	食育指導、栄養教諭とのTT		
7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの工夫・改善	体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施、新体カテストのデータ分析と各学年の重点強化	4	4
	(17) 体育行事の充実	目標を持たせた事前事後指導		

○児童 □保護者 ■教職員

【6(14)(15)健康的な生活習慣に関するデータ】

○給食を好き嫌いせず食べることができましたか。

□■歯磨きや給食指導、one one カードの実施によって、健康習慣への関心は高まってきていると思いますか。



歯みがき指導(3年)

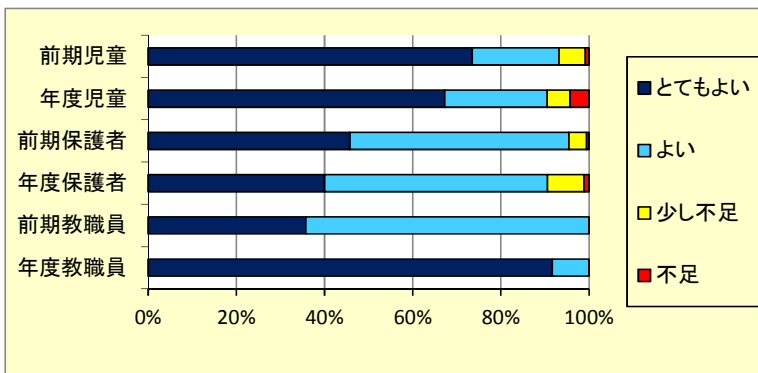


【7(16)体力づくりに関するデータ】

○マラソンや外遊び、ロコモダンスなど進んで体力づくりをすることができましたか。

□マラソンやなわとびタイム、ロコモダンスの実施、外遊びの奨励は、進んで運動し体を鍛えようとする子どもを育てていると思いますか。

■マラソンやなわとびカード、ロコモダンスなどを活用して体力向上につなげていますか。



なわとびチャンピオン高学年の部表彰式



児童の状況

V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

児童生徒の状況	自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
学習リーダー(SL)を中心に子どもたちが主体的に学び合う授業づくりを行っている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	クラスが減っている中で、若い先生方を中心に、釈迦内小が目指す授業スタイル、学校が目指す授業づくりをしている。また、クラスを解体し、コース別学習にするなど少人数学習にも積極的に取り組んでいる。今後は、学びの表現「響学」が広がるように期待したい。読書活動は、児童や保護者の意識が良い方向に進んでいる。ぜひ、継続してほしい。
	年度 おおむね良好	良好	諸検査はできているものもあるが、どのクラスも落ち着いて授業しており、学習形態の工夫、発言のルールなど、「釈迦内小スタイル」がよく見えた。今後も不断の努力を続けて欲しい。

善学策校評価の概要と学校の改善
 【前期(→年度)】8(18)に関して→「家庭学習の手引き」を作成し、ノート展の実施、毎日の励まし等を実施してきた。取り組み方がよく分からない児童もいるため、メニューを示したり、よいノートの書き方を提示したりしている。8(19)に関して→図書室の貸し出しを推進し、朝に読書の時間を設け、定期的に読み聞かせや親子読書を行ってきた。さらに読書への興味関心が高まるようにおすすめの本紹介や図書室整備に取り組んでいきたい。9(20)に関して→「ひまわりタイム(学び合う時間)で自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、学び合うこと」を継続して取り組んできている。学び合いに対する高い意欲を大切に、児童が苦手と感じている「進んで考えを伝える」「考えを分かりやすく伝える」や「豊かな学び」につなげる授業づくりにさらに力を入れていきたい。
 【年度】8(18)に関して→授業の準備等、学習習慣や家庭学習の習慣が身に付き、主体的に学習に向かうようになってきた。8(19)に関して→先生や図書委員の読み聞かせ、親子読書の継続や読書強調月間の取り組みにより、児童の読書への興味関心が高まり、本に親しむ児童が増えてきた。図書室の利用が少し減ったのは、厚い本をじっくり読むようになったので図書室利用としては少なくなったと思われる。さらなる読書活動の充実につなげていきたい。9(20)に関して→「ひまわりタイムの学び合いは楽しい」と感じ、「友達の考えを自分の考えに生かそうとしている」児童が多い。身に付けたい力を明確にして授業改善に取り組んできた成果と言える。一方、「考えを分かりやすく伝えることができる」とこの自己評価が低い児童がまだ多い。身に付いた力や学んだことを価値付けし、学びを実感させ自信をもたせていく手立てを工夫していきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
8 基本的な学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着	「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底、「学び合いの表現」の活用、「家庭学習の手引き」の作成、主体的な家庭学習の奨励、「お宝Myノート」の紹介	3	4
	(19) 読書活動の充実	図書室の整備、栗盛図書館との連携、図書の活用、親子読書、読書月間の実施、読み聞かせなど		
9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり	計画的な研究授業、身に付けたい力を明確にした授業構想及び板書型指導案の立案、次の学びにつなげる「振り返り」の充実、自分の考えを表現するための工夫、考えの共有・追求の場の設定(ひまわりタイム)、学習リーダーの活用	3	4
	(21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	釈迦内スタンダード45をベースにした授業構成、屋ドリルでの「ことばタイム」、「ことばのたから箱」の活用、国語辞典の活用、NIEコーナーの設置、全校漢字・計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟、各種検査の分析と回復指導		

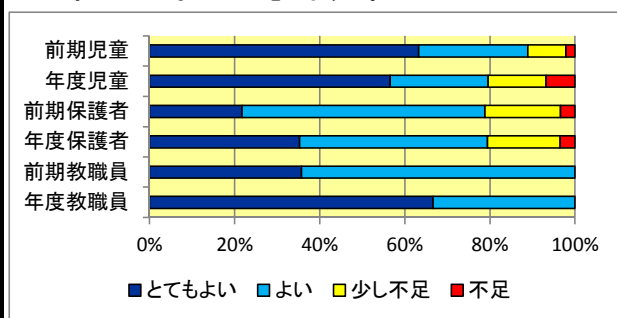
○児童 □保護者 ■職員

【8(19) 基本的な学習習慣の形成のデータ】

読書活動の充実

○図書室を利用したり、すすんで読書をしたりすることができましたか。
 □読書タイムや図書室の利用、月一回の読書運動、先生や児童の読み聞かせは、お子さんの読書への関心は高まっていると思いますか。

■図書室の活用や親子読書、読み聞かせは、読書活動を充実させるための手立てにつながったと思いますか。



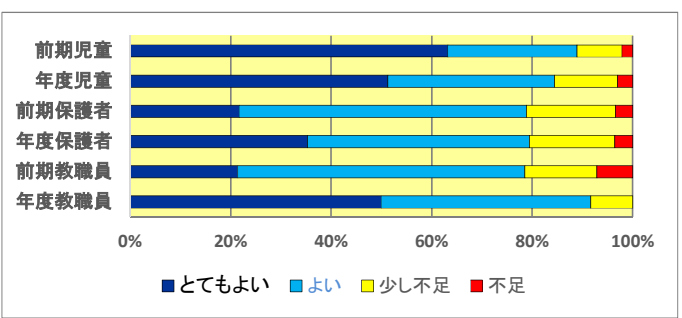
【9(20) 確かな学力のデータ】

学び合い、生き生きと表現する授業づくり

○友だちと学び合いながら、伝えたり意見や考えを聞いたりすることができましたか。

□本校の子どもたちは、授業の中で、友だちと学び合いながら、自分の考えを表現していると思いますか。

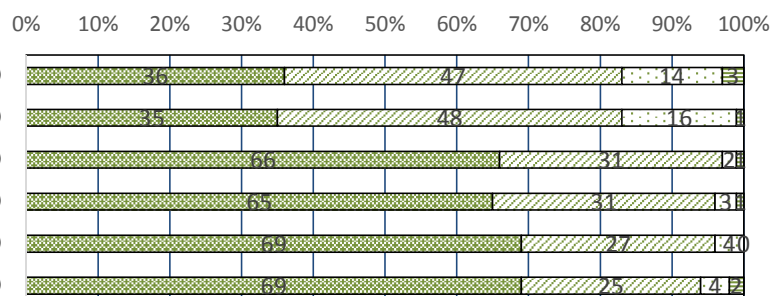
■研究部や学習部の計画のもと、日々の授業や研究授業で学び合い、生き生きと表現する授業づくりになっていますか。



【9(21) 確かな学力に関わること】:年度(研究部アンケートより)

学習アンケートの結果

- 考えを分かりやすく伝えることができる(7月)
- 考えを分かりやすく伝えることができる(12月)
- 自分の考えに生かそうとしている(7月)
- 自分の考えに生かそうとしている(12月)
- ひまわりタイムで学び合うのは楽しい(7月)
- ひまわりタイムで学び合うのは楽しい(12月)



■アとてもよく □イ少し □ウあまり ■エまったく

令和2年度・年度学校評価一覧

大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)

学校教育目標 ～桜心 向陽三行～

美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成

重点目標 「なりたい自分」に向かって前向きに挑戦する子どもを育てる

人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目		自己評価A (上段:前期) (下段:年度)	学校関係者評価 (上段:前期) (下段:年度)	評価指標	実践課題	主な取組	学校評価 (前期)	学校評価 (年度)	外部評価 (前期)	外部評価 (年度)	
	I	学校運営と保護者・地域との連携 (教頭・事務)	確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	良好	良好	1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営 (2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	・定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催 ・学年・学級会計事務の効率化・教材備品の計画的購入 ・定期的な施設設備の点検と補修	4	4	4	4
良好				良好	2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信、学校公開日の実施 (4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページやブログでの発信 ・みんなの登校日・諸行事の案内 ・子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用	4	4	4	4	
良好				良好	3 「問いを発する」ひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施 (7) 深化と自律を目指した活動と釈迦内SPとの連携	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント ・ひまわりキッズ委員会を中心とした取組 ・釈迦内SPとの連絡、調整 ・一戸一ひまわり運動、ひまわり感謝祭等の実施	4	4	4	4	
良好				良好	4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(8) 新ひまわりプロジェクト「SKIP」の展開	・児童の発想や願い、問いを生かしたひまわり活動 ・各教科等との関連を図った実践 ・キャリア教育と連動して育てる力の明確化	3	4	3	4	
良好				良好	5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(9) 「意識化一見取り一称揚一定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり (10) 美しい心を育むあいさつ運動、ボランティア活動	・「釈迦内小のやくそく」による基本的な生活習慣の指導 ・日常の言葉遣い指導 ・あいさつ運動の工夫(一人一人があいさつリーダー、あいさつチャンピオン) ・ボランティアデー(毎月25日)によるボランティアの奨励	4	4	4	4	
II		特色ある学校づくり (教務・ひまわりPT)	ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	良好	良好	4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、さわやか朝会、委員会スタート集会、釈迦小サミット、児童総会等による児童の自発的、自治的活動の助長 ・いいの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励	4	4	4	4
				良好	良好	5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(12) 自己有用感をもてる学年・学級経営 (13) 安心・安全な基礎となる学びの環境づくり	・先生と話そう期間の設定・問題行動などの早期解決 ・日常的教育相談活動・一戸一戸一艇の実施 ・学校安全日・朝の交通安全指導 ・避難訓練・交通安全教室の実施	3	4	3	4
				良好	良好	6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化 (15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	・健康状態の把握及び指導(睡眠・朝食・排便)・歯磨き指導 ・one one カードの活用・清掃指導 ・食育指導、栄養士とのTT	3	4	3	4
				良好	良好	7 体づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの工夫改善 (17) 体育行事の充実	・体育指導の充実と改善、マラソン、ロコモダンス、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化 ・目標を持たせた事前事後指導	4	4	4	4
				良好	良好	8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着 (19) 読書活動の充実	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成・主体的な家庭学習の奨励・「お宝Myノート」の紹介 ・図書を活用・親子読書・読み聞かせなど	3	4	3	4
III	児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり (生活指導部)	「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	良好	良好	9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり (21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・計画的な研究授業・身に付けたい力を明確にした授業構想及び板書型指導案での立案 ・次の学びにつなげる「振り返り」の充実・自分の考えを表現するための工夫・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム)・学習リーダーの活用 ・釈迦内スタンダード45をベースにした授業・屋ドールでの「ことばタイム」「ことばのたから箱」の活用・国語辞典の活用・NIEコーナーの設置・全校漢字・計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導	3	3	3	4	
			良好	良好	6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化 (15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	・健康状態の把握及び指導(睡眠・朝食・排便)・歯磨き指導 ・one one カードの活用・清掃指導 ・食育指導、栄養士とのTT	3	4	3	4	
			良好	良好	7 体づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの工夫改善 (17) 体育行事の充実	・体育指導の充実と改善、マラソン、ロコモダンス、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化 ・目標を持たせた事前事後指導	4	4	4	4	
IV	健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (健康推進部)	より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	良好	良好	7 体づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの工夫改善 (17) 体育行事の充実	・体育指導の充実と改善、マラソン、ロコモダンス、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化 ・目標を持たせた事前事後指導	4	4	4	4	
			良好	良好	8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着 (19) 読書活動の充実	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成・主体的な家庭学習の奨励・「お宝Myノート」の紹介 ・図書を活用・親子読書・読み聞かせなど	3	4	3	4	
V	自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導部・研究)	学習リーダー(SL)を中心に子どもたちが主体的に学び合う授業づくりを行っている。	良好	良好	8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着 (19) 読書活動の充実	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成・主体的な家庭学習の奨励・「お宝Myノート」の紹介 ・図書を活用・親子読書・読み聞かせなど	3	4	3	4	
			良好	良好	9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり (21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・計画的な研究授業・身に付けたい力を明確にした授業構想及び板書型指導案での立案 ・次の学びにつなげる「振り返り」の充実・自分の考えを表現するための工夫・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム)・学習リーダーの活用 ・釈迦内スタンダード45をベースにした授業・屋ドールでの「ことばタイム」「ことばのたから箱」の活用・国語辞典の活用・NIEコーナーの設置・全校漢字・計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導	3	3	3	4	